

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所
コード番号 6145 URL <https://nittoku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,338	△9.8	1,991	0.9	2,115	0.7	1,349	△6.4
2023年3月期第3四半期	21,436	19.6	1,974	27.0	2,101	23.6	1,441	14.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,072百万円(47.7%) 2023年3月期第3四半期 1,403百万円(△30.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 74.69	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	79.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 52,371	百万円 37,528	% 71.0
2023年3月期	47,675	36,024	74.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 37,190百万円 2023年3月期 35,715百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 30.00
2024年3月期	—	17.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	5.2	4,000	29.2	4,100	31.4	2,800	25.9	154.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	18,098,923株	2023年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	32,488株	2023年3月期	32,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	18,066,511株	2023年3月期3Q	18,066,977株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における世界経済の情勢は、ウクライナ・中東・中国情勢等に伴う地政学的リスクの高まり、資源・エネルギー価格の上昇、世界的なインフレ圧力の残存やそれに対する金融引き締め政策による経済への下押し影響等が懸念される中、回復ペースが鈍化し、不確実性が高い状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においては、自動車産業における脱炭素化に向けた世界的な潮流が継続する中、緩和的な金融環境が民間需要の下支えとなり、人手不足対応やデジタル関連の投資、成長分野・脱炭素化関連の研究開発投資、サプライチェーンの強靱化に向けた投資、製造生産システムの自動化・高度化・高品質化ニーズ等により設備投資は堅調に推移いたしました。

当社においては、グローバル人材の育成により、海外拠点の営業・生産・サービス提供レベルを向上させ、ユーザーのニーズ・ウォンツを的確に捉えた「生産技術の代行」と、ユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進いたしました。また近年は、SDGs対応やESG経営が求められるようになったことから、当社は省資源・省材料・省電力・省スペース・高生産性・高安全性等を実現する生産システムをユーザーに提供しており、地球環境や国際社会への貢献に努めております。

以上の状況下、当社個別ベースでの受注高は、製造業における自動化投資意欲は旺盛なものの、国際情勢が不安定な中、大型ラインの投資実行には引き続き慎重さが見られたこと等が影響し、前年同期に対し13.1%減少し、167億57百万円となりました。また個別売上高は前年同期に対し15.5%減の140億3百万円となり、個別受注残高は前年同期に対し18.9%増の236億61百万円(過去最高額)となりました。

また、当社グループにおける連結売上高は193億38百万円(前年同期比9.8%減)、営業利益は19億91百万円(前年同期比0.9%増)、経常利益は21億15百万円(前年同期比0.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億49百万円(前年同期比6.4%減)となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社は、搬送システム上に巻線・ハンドリング・組立・検査等の工程を搭載し、独自開発のOSにより高機能多軸同期制御が可能な生産システムを提供することで、世界市場におけるユーザーの競争優位性の向上に資するビジネスモデルを追求しております。ユーザーごとに創出される固有のニーズやウォンツにスピーディーに対応し、オープンイノベーションによるユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブルーレイク戦略」をグローバルに推進することによって、既存領域の深化と周辺事業領域の探索を進めております。

昨今の急速なデジタル化の進展によるデバイスやツール等の高性能化・高度化に伴い、当事業においては、当社は従来の「生産設備メーカー」から、ユーザーの生産システム全体の設計・構築に技術・アイデアを提供し、巻線の前後工程を含む工程全体の生産効率化や品質向上に貢献する「ラインビルダー」へと変化しております。生産システムの大型化・複雑化に伴い、近年は高額かつ新規要素を多く含む案件の受注が増加していることから、採算性にも配慮が必要となりますが、当期においては、技術ノウハウの蓄積、受注時の精緻な擦り合わせ、生産効率化、原価低減、付加価値向上等により、こうした案件についても予想を上回る利益確保が実現でき、また加えて、外貨建て案件において為替影響がプラスに働きました。

これらの結果、全売上高の約90%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、連結売上高は173億65百万円(前年同期比10.2%減)、セグメント利益(営業利益)は20億74百万円(前年同期比0.3%減)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は152億26百万円(前年同期比12.9%減)、売上高(生産高)は120億30百万円(前年同期比16.9%減)、当第3四半期末の受注残高は231億33百万円(前年同期比22.0%増)となりました。

(非接触 I C タグ・カード事業)

当第3四半期連結累計期間においては、非接触 I C カード及び生産管理用電池タグの売上高は堅調に推移しました。一方、電池以外の生産ラインの管理に使用される F A タグの売上高は、当第3四半期連結累計期間は、前年同期に比べ、一服感が見られました。

これらの結果、連結売上高は19億73百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益（営業利益）は6億81百万円（前年同期比22.6%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は15億30百万円（前年同期比14.4%減）、売上高（生産高）は19億73百万円（前年同期比5.9%減）、当第3四半期末の受注残高は5億28百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は前連結会計年度末対比31億93百万円増加し、352億96百万円となりました。これは主として、仕掛品が47億41百万円増加したものの、現金及び預金が18億50百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比15億1百万円増加し、170億74百万円となりました。これは主として、投資有価証券が7億69百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比46億95百万円増加し、523億71百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末対比30億4百万円増加し、134億77百万円となりました。これは主として、契約負債が29億27百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比1億86百万円増加し、13億65百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が1億72百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比31億91百万円増加し、148億42百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比15億3百万円増加し、375億28百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想については本日（2024年2月9日）公表をいたしました「2024年3月期 通期連結・個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,842	11,991
受取手形及び売掛金	4,975	4,980
電子記録債権	1,756	1,667
仕掛品	8,753	13,494
原材料及び貯蔵品	1,950	2,442
その他	833	786
貸倒引当金	△9	△66
流動資産合計	32,102	35,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,549	4,840
機械装置及び運搬具（純額）	869	988
土地	2,803	2,804
その他（純額）	742	682
有形固定資産合計	8,964	9,316
無形固定資産		
その他	114	173
無形固定資産合計	114	173
投資その他の資産		
投資有価証券	4,113	4,883
退職給付に係る資産	568	573
繰延税金資産	47	49
その他	1,764	2,078
投資その他の資産合計	6,494	7,584
固定資産合計	15,573	17,074
資産合計	47,675	52,371

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,890	1,858
電子記録債務	2,623	2,385
未払法人税等	197	568
契約負債	3,785	6,713
賞与引当金	630	419
その他	1,344	1,531
流動負債合計	10,472	13,477
固定負債		
繰延税金負債	702	874
退職給付に係る負債	19	1
その他	455	490
固定負債合計	1,178	1,365
負債合計	11,650	14,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,535	2,528
利益剰余金	22,555	23,327
自己株式	△28	△29
株主資本合計	31,948	32,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,575	1,925
為替換算調整勘定	1,873	2,310
退職給付に係る調整累計額	319	242
その他の包括利益累計額合計	3,767	4,479
非支配株主持分	309	337
純資産合計	36,024	37,528
負債純資産合計	47,675	52,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	21,436	19,338
売上原価	15,874	13,088
売上総利益	5,562	6,250
販売費及び一般管理費	3,587	4,258
営業利益	1,974	1,991
営業外収益		
受取利息	31	64
受取配当金	60	61
その他	107	90
営業外収益合計	199	216
営業外費用		
支払利息	10	25
為替差損	—	43
その他	62	23
営業外費用合計	72	92
経常利益	2,101	2,115
特別損失		
投資有価証券評価損	52	—
特別損失合計	52	—
税金等調整前四半期純利益	2,048	2,115
法人税、住民税及び事業税	218	695
法人税等調整額	374	73
法人税等合計	592	769
四半期純利益	1,456	1,345
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,441	1,349

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,456	1,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	350
為替換算調整勘定	186	453
退職給付に係る調整額	△66	△76
その他の包括利益合計	△52	727
四半期包括利益	1,403	2,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,385	2,060
非支配株主に係る四半期包括利益	18	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	19,339	2,097	21,436
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	19,339	2,097	21,436
セグメント利益	2,080	555	2,636

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,636
全社費用(注)	△661
四半期連結損益計算書の営業利益	1,974

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	17,365	1,973	19,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	17,365	1,973	19,338
セグメント利益	2,074	681	2,755

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,755
全社費用(注)	△763
四半期連結損益計算書の営業利益	1,991

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。